

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	カリフォルニア大学デービス校	氏名	
国名	アメリカ合衆国	学籍番号	
留学期間	2024 年 9 月 ~ 2025 年 6 月	記入年月日	2025 年 7 月 23 日

1	履修したすべての科目についてお書きください			
	主な専攻分野: Psychology, Philosophy, Human Right			
	科目名	DRA 111 001	科目名	HMR 001
	授業内容	明確な口頭及び身体的コミュニケーションスキルを向上させるための演技技法を活用した授業。英語で創作劇をしたり、歌を歌ったりと他の留学生を仲良くなることもできる。	授業内容	講義とディスカッションを通して、歴史的・現代的な問題を検証しながら、人権について幅広く概観する。
	授業形式	対面	授業形式	対面
	単位数	4	単位数	3
	サイズ	約30人	サイズ	約100人
	難易度 Course No.	111	難易度 Course No.	1
	宿題の量	少ない	宿題の量	普通
	コメント	留学生の授業で、gspの方からおすすめされていたものだったのえ受講した。最初の方に、みんなの前で歌う課題がある。ここさえクリアしてしまえば、あと恥ずかしいことなどない。	コメント	ミッドタームがfinal含めて3回あり、3冊本を読まなければいけなくwriting experienceの対象科目であったため、とにかく読んで書く量が多かった。discussionもしっかり話し合わなければいけなく、自分の意見をちゃんともっておくべきだった。予習と復習が鍵となる。
	科目名	FST 003 001	科目名	ENG008
	授業内容	ベールの歴史、種類、醸造方法について。毎週火曜日にオンラインでクイズがあるが、それもppt見れば簡単だった。	授業内容	ビジネスモデルキャンバス、デザイン思考、リーンスタートアップメソッドなどのメソッドを用いて、起業のためのフレームワークや戦略など、起業家が知っておくべき重要なトピックを探究します。このクラスはすべての専攻の学生に開かれており、3つのC(Curiosity(好奇心)、Connections(人脈)、Creating Value(価値の創造))に基づく起業家マインドを重視している
	授業形式	対面	授業形式	対面
	単位数	3?	単位数	3
	サイズ	約200人ほど	サイズ	約100人?
	難易度 Course No.	3	難易度 Course No.	8
	宿題の量	普通	宿題の量	多い
	コメント	楽単で有名な授業だった、しかし内容はベールの歴史から種類、醸造方法まで学べて面白かった。	コメント	グループを作りそれぞれアメリカのスタートアップの企業が割り当てられ、その企業についての理解を深めて、プレゼンと分析をしなければいけない。グループワークが多いので、正直グループガチャが大きい。

科目名	CGS/PHI 017	科目名	GEL017 001
授業内容	現代の生物学分野における哲学的、社会的、科学的な考え方、方法、技術についての専門的ではない入門コース。	授業内容	地震、津波、火山、地滑り、洪水などの自然災害が人間、構造物、環境に与える影響に焦点を当てる。このコースでは、これらの災害の原因や影響、予知、準備、軽減策について学ぶ。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	3 or 4	単位数	2
サイズ	40人	サイズ	約20人
難易度 Course No.	17	難易度 Course No.	17
宿題の量	多い	宿題の量	普通
コメント	哲学と認知科学の授業で、基礎知識が皆無だったのとリーディングの量が多く、とにかく大変だった。discussionも専門用語を使用してだったので、復習にかなり力を入れた。わからないところは友達に聞きまくった。	コメント	災害のことについて学びたいとずっと思っていたので、地震が発生する原理や、メカニズム、防災について今までなかった視点から考えることができてよかった。私は東日本大震災の被災者なので、その経験も伝えられてよかった。
科目名	PSC 154 Psychology of Emotion	科目名	ECH 001Y
授業内容	感情と身体的感情に関する最新の理論と研究を、自己認識に焦点を当てながら探求する	授業内容	コーヒーの焙煎と抽出のプロセスを実例として、化学工学の基本原則を説明します。
授業形式	オンライン	授業形式	対面
単位数	3	単位数	3
サイズ	約20人	サイズ	36人
難易度 Course No.	154	難易度 Course No.	1
宿題の量	多い	宿題の量	普通
コメント	心理学に興味があったので、とてもおもしろかった。しかし毎週かなり重いレポートがあったので、それは大変だった。deepLとchatGPTにもあ世話になりながら図書館にこもり勉強をした。文献もかなり読んだ。	コメント	グループワークで、毎週コーヒーをいろんな方法で淹れた。しかしこれもグループガチャが強く、私は韓国人カップルと一緒に居心地が悪い時がたまにあったが、英語でコミュニケーションをしっかりと取らなければいけなく、かなり英語を使った。
科目名	HIS 184 A01	科目名	JPT 197T
授業内容	避妊、結婚、性的暴力、フェミニスト、ゲイ、レズビアンなどのトピックを含め、ヨーロッパとの接触以前から20世紀後半までのアメリカにおけるセクシュアリティの歴史を探求する	授業内容	日本語チューターをボランティア、または1単位として行う。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	3	単位数	1
サイズ	約60人	サイズ	その日によるが大体二人
難易度 Course No.	184	難易度 Course No.	197
宿題の量	普通	宿題の量	daily reportのみ
コメント	アメリカの中絶問題については興味があり、それでこのクラスを受講した。いろんなgenderの方が多いクラスで、多様性に溢れておりいろんな価値観を学ぶことができて面白かった。	コメント	日本語を学ぶ学生のサポート。毎週来てくれる学生と仲良くなり、友達が増えた。日本語を一生懸命学ぶ学生を見て、自分も英語の学習を頑張ろうと毎週モチベとなった。

2

授業において困ったこと、その解決法について教えてください

授業で一番困ったことは、初めてとったクラスがかなり厳しい先生で、パソコンとスマホ・ipad使用を好んでおらず、紙とペンでのメモと求められました。わからない単語など調べられなかったのも、何を話しているか少しでも聞き逃したらおしまいのような状況でした。自分で何をメモしているのかすらわからなく、周りの学生にノートを見してもらったり、わかりやすく説明してもらったりと、助けてもらいました。私は人の話を聞くのが苦手なので、授業中はとにかく先生の話聞くことに集中しました。レポートなど調べるのは好きなので、それは積極的に進んでできました。友達の力がなければ、クリアすることができなかったと思うので、本当に助けてくれて支えてくれた友達には感謝しています。

3

授業以外の活動についてお書きください

Out Door Crew Clubというアウトドアのクラブに一度だけ参加した。JASS (Japanese American Student Society)に参加しており、週一のミーティングに加えて、イベントも多かった。本当に多くの出会いがあり、ここでの友情が1番の英語の上達に繋がったと思う。Jassのパレーチームに参加して、パレーの英単語や海外でパレーするというbucket listを叶えられてよかった。late night driveをしたり、partyなどsenior bar crawlなどアメリカンな経験をここでの友達とたくさん作れて嬉しかった。l

4

寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください

寮(またはアパート、フラット)名とその場所

Sol at West Villageというアパート

設備についての簡単な説明

大きなプールと24hのスタディールームとジムがあった。かなり設備はよかった。夜にプールでchillしたり、ジムでトレーニングもたくさんできた。また友達とstudy roomで勉強したりとかなり有意義な時間を過ごすことができた。

部屋について

1 人部屋

広さ

8 畳くらい

ルームメートについて

アジア系アメリカ人の学生2人と、中国人1人と暮らしていた。アジア系アメリカ人の一人とは、2回ほど二人で出かけた。彼女の猫の世話をしあげたりかなり仲良くなった。もう一人とも、キッチンであえばたくさん話したりといい人たちだった。しかし、中国人のハウスメイトは衛生観念がかなり違ったため、キッチンに腐った食べ物を放置されたり、飼っていた猫の世話を全くしていないため不衛生だったこともあり、一度大きな口論をしてそこから一回も話さなかった。他のハウスメイトにもかなり態度が悪く、4人で話すことなどは一回もなかった。

寝具や生活用品の入手方法

アパートに着いたらシーツも枕も何もなかったため、車を持つ友達ができるまでは、1週間ほど枕なしシーツなし掛け布団もなく過ごした。アパートは基本こういうスタイルなので、事前にしっかり調べてから必要なものを把握しておくべきだと思う。

生活の感想

生まれも育ちも衛生概念も違う人との生活なので、もちろんぶつかることはあった。2回ほど火災報知器を鳴らしてしまい怒られたこともあったが、励ましてくれたり、ルームメイトの猫の世話を三日間見たり、喧嘩したりとはちゃめちゃだけど楽しいことの方が多かった。友達とはまた違う存在であったため、一緒に暮らしていた同志のような不思議な存在だった。その分深まる絆もあった。いい経験になったと思っている。

5

食事についてコメントを書いてください

ほぼ自炊でした。trader joe'sという安いスーパーが近くにあったので、そこでよく食料を買って自炊していました(ほぼ日本食)。同じ日本人の留学生でとても料理が上手な子がいたため、その子のお家でdinner partyを何度もした。後半は外食も多かった。ダウンタウンのご飯屋さんはほぼ行った。

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	OSSMAプラス 上乗せ海旅	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	Student Health and Counselling Services	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
	ない	
7	費用について教えてください(実際にかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	円
	帰国旅費	円
	引越し(往復で)	円
	保険	円
	語学研修費	円
	留学先学費	円
	本学学費	円
	教材費	円
	住居費	円
	食費	円
	その他()	円
	()	円
	()	円
合計	円	
換算率 (= 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	筆記用具、スキンケア用品、生理用品(多めに)、水筒、パソコン、就活の本、スーツ	
	留学前にしておけばよかったこと	
	speaking能力をもっと高める努力をしてから行くべきでした。あとは就活もしていたので、その準備とかももう少し下調べなどとしてしておくべきだった。	

9	適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください 特になかった。強いというなら、spring breakの始まりで、ルームメイトと大きめな喧嘩をしたので、それが一番ストレスだった。
10	留学の成果(学習面・精神面)を教えてください 大学生になってからずっと目標としていた留学を達成できて、毎日一日が宝物のような日々だった。そのため最初学習面で、自分のリスニング能力やスピーキング能力が本当に伸びているのか伸び悩みを感じ、落ち込むようなこともあったが、その度に励ましてくれた仲間や日本の家族や友達の存在が大きく、乗り越えることができた。その学期ごとに本当にいろんな人に出会い、日本にいたらできないような経験をたくさん積むことができた。価値観が違う友達の考えを日常的に聞いてそこで得ることができた気づきや、一緒に旅行することでその絆を深めることができて、人として成長できる機会を得ることができた。どんなことにも挑戦する積極性や行動力は、アメリカにおいて役に立った。最後に私と友達で、留学生用のfarewell partyを開いたが、そこで想像以上の学生が来てくれて涙が出るくらい嬉しかった。デービスで作り上げた人脈とすの素晴らしさを実感できたいい経験だった。
11	今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください 2024年11月にボスカリにて2社内定。2025年4月のロスカリ経由で2社内定をいただき、このうちの一社の製薬会社の海外事業部の内定を承諾した。4年の9月からの留学だったため、就職活動は手探りで行った。時差はあったもののobog訪問も行い、授業の合間でwebテストの勉強を行った。面接は主にオンラインだったのとキャリアフォーラムで、身だしなみの基準は低かったためそれは助かった(髪を黒く染められなかったりしたので)。webテストは数をこなして慣れようと努力した。国内選考で受けようとした企業もあったが、時差でwebテストや書類選考の締め切りを間違えるなどしたこともあった。キャリアフォーラムに参加する企業の中で、自分の就活軸や私らしさを認めてくれる会社に出会えて内定をもらうことができたので本当に運がよかったと思っている。就活中病むことはほぼなかった。
12	留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします 留学までの手続きが一番大変だと思います。準備も多くストレスや不安もあるかもしれませんが、私はノミネーションメールに気づかず国際センターさんに迷惑をかけてしまったので、メールは毎日チェックして念入りに準備してください。留学したら本当にいろんなことがあると思います。だけどなんでも前向きにポジティブに、全て「経験」だと思って受け入れてその状況も丸ごと楽しんでください！留学しなければ味わえない感覚や経験です。最後に本当に留学してよかったと思えるように、積極的に何事にも挑戦してください！あと、英語は勉強していて損などないので、留学前にたくさん英語を聞いたり読んでください。
13	その他、ご自由に意見を書き込んでください この留学生活は夢のような10ヶ月間でした。泣いたり笑ったり喧嘩したり、、巡り会うべき人たちに巡り会えて「仲間」となれたこと、その地でしか経験できないような経験を積めたこと、今後もう一生大切にしたいと思えるような人脈をこのデービスという地で作れたことに心から感謝しています。自分一人では生き抜いていけなかったのも、本当に支えてくださったみんなには感謝しても仕切れません。また、成し遂げた自分も誇りに思います。自信につながりました。

写真を数枚添付していただけると幸いです。(キャプションをつけてください。)



senior photoにて、jassのメンバーたちと



picnic dayでjassのブースのボランティア



パーティーにて友達と



主催したfarewell partyで、バレーメンバーとともに。



fall quarterに、ODCのメンバーとハイキングした時。



パーティーにて。